

# きずな

2013年  
(平成25年)

2



2月21日

国際母語デー

言語と文化の多様性、多言語の使用、そしてそれぞれの母語を尊重することを推進するため、1999(平成11)年に国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)が制定しました。

特集テーマ 教育と人権

## “ひと”を大切にすること

- 2 ごめんねの一言で  
(平成24年度のじぎく文芸賞作品(随想部門))  
阪尾優衣奈さん
- 3 自分が自分であって大丈夫  
高垣忠一郎さん  
(立命館大学応用人間科学研究科教授)
- 4 学生のいじめ体験談から  
いじめ問題を考える  
吉野啓子さん  
(京都ノートルダム女子大学人間文化学部教授)
- 5 人権かるたで子どもの生きる力を育む  
NPO法人はちどり人権塾(明石市)
- 6 性的マイノリティの生きづらさ  
日高庸晴さん(宝塚大学看護学部准教授)
- 7 ふれあいサロン
- 8 情報ぷらざ



特集

# 教育と人権

少子・高齢化、家族形態の多様化などに伴い、家庭や地域の教育力の低下が懸念される中、人権尊重の精神が態度や行動となって表れるようになるための教育がより求められています。一人ひとりが、自分も他者も大切にすることを育み、互いに尊重し合う人権感覚を身に付けるためにはどうすればいいかを考えてみましょう。



## ごめんねの一言で

さか お ゆ い な  
阪尾優衣奈

(加古川市立鳩里小学校5年)

わたしは、小学三年生の時に、今とっても仲の良い友達とけんかしました。

けんかの原因は、小さなことから始まりました。けんかをしていたしは、泣くのをこらえて帰り、家でいっぱい泣いて、もう遊ばないと思いました。

それから二日間くらい二人はずっと知らんぷりでした。いつもいっしょに帰っていたけど、その日は帰りませんでした。いつもいっしょに遊んでいたけど、それから遊びませんでした。

そして、二日間たったある日、けんかした友達が妹をさそいに来ました。でも妹は断り、お母さんに行ってきたらと言われ、少しドキドキしながら行きました。

「ごめんね」の一言で、わたしたちは、今までよりずっと仲良くなりました。そして、それからはもうけんかをしなくなりました。

「ごめんね」のたったの四文字なのにとっても勇気がいりました。

そして、このけんかで、「ごめんね」という言葉の意味を今までより、深く知ることができたと思います。



# 自分が自分であって大丈夫

高垣 たかがき 忠一郎 ちゅういちろう さん (立命館大学応用人間科学研究科教授)



## 「あるがまま」の存在

不登校の子どもやひきこもりの若者の多くは、自己否定の心にとらわれています。しかも、それは自分の存在そのものを否定する「まると否定」です。「学校に行けない自分なんて、情けない!」「働けない自分なんて、なんの価値もない!」「こんな自分は消えた方がよい」と、自分を責め、嫌い、自分の存在そのものを否定しているのです。

そういうまるごとの自己否定の泥沼のなかには、やはりこんでいる子どもや若者と向きあい、その泥沼から彼らが這い上がるのを援助しようとする努力のなかから生まれてきたのが、私の「自分が自分であって大丈夫」という自己肯定感という言葉です。

それは、他人と比べてであろうが、自分自身の物差しであろうが、ある部分的な性能を「優れている」「よし」と評価して生まれる「自己肯定感」ではありません。私のいう自己肯定感とは自分の「あるがまま」の存在そのものを承認し肯定する自己肯定感なのです。では

なぜそういう自己肯定感がいまことのほか大切なのでしょうか?

## 大切な心の支え

今の社会は競争社会であり、「競争原理」が生き方を支配しています。だから、親や教師はすぐに子どもを比べます。跳躍力や走力、国語や算数の成績など、ある部分的な性能を取り出したときのみ、それを比べて優劣をつけることができます。まるごとの人間を比べて順位をつけることはできません。だから、「比べ癖」のついた目で子どもをみると、比べることのできる部分だけが目に入り、まるごとの子どもを見失ってしまいます。

そして、「成績の悪いダメな奴」「不登校のダメな奴」「おとなしいダメな奴」などと、「成績」や「不登校」や「おとなしい」などはその子の部分的な特徴でしかないのに、その部分によって「ダメな奴」とまるごと全体を否定するような「評価」を子どもや生徒にシャワーのように浴びせることになるのです。



そのような「脅し」の評価によって駆り立てられる子どもたちの心には「自分が自分であって大丈夫」という安心感の代わりに、「期待に込める『よい子』でない」と見捨てられる」という不安が埋め込まれます。そういう子どもたちは不安に脅え他人の目ばかりを気にして、自分自身の頭で考え、自分自身の心で決めて生きていくことができません。ですから、子どもたちが人生の主人公としてかけがえない人生を生きていけるようになるためにも「自分が自分であって大丈夫」という心の支えが大切になるのです。

### プロフィール

1944 (昭和19) 年高知県生まれ。臨床心理士。立命館大学大学院で臨床心理士志望の大学院生を指導。病院精神科などで患者期・青年期の問題を中心に臨床に従事。不登校・ひきこもり問題に最も時間とエネルギーを費やしてきた。2001 (平成13) 年から現職。「登校拒否・不登校問題全国連絡会」の世話人代表も務める。著書は「カウンセリングを語るー自己肯定感を育てる作法ー」(かもがわ出版) など多数。

# 学生のいじめ体験談から いじめ問題を考える

よしのけいこ  
吉野 啓子さん

(京都ノートルダム女子大学人間文化学部教授)



京都ノートルダム女子大学教授の吉野啓子さんは昨年1月、学生たちからいじめの体験談を集めた「いじめからあなたの笑顔を取り戻したい」を出版しました。本を作ったきっかけは10年前、担当する「フェミニズム文化論」の授業で、社会的に立場の弱い女性の問題を取り上げる際、学生たちに身近ないじめの問題にもアプローチしようと、学生や卒業生から無記名でいじめの体験談を募ったことです。

「内容の生々しさは想像以上に深刻なもので、がく然としました」と振り返ります。中には、当時のつらい思いを吐き出すかのように、原稿用紙からはみ出してびっしりと書かれた

ものも。その一方で、「いじめられた体験を振り返ることで、生きることや思いやりに気付くようになった」という前向きな文章もいくつもあつたそうです。

現在、吉野さんは授業で「いじめから――」をサブテキストとして使用。収載されている事例を基に討論し、いじめ問題の解決について考えています。学生たちからは「自分と同じ体験をしていた人が多くいたことを知り、一人じゃなかったんだと思った」「友人をいじめていた時に感じた自分への嫌悪感をやっさと整理でき、反省することができた」「当時は、いじめている意識はなかったが、あらためて振り返るといじめだったと思う」といった意見が出るそうです。

「学生だけでなく、この本を読んだ卒業生からも、自分の子どもについて、日常の変化に気付く目を持つ大切さを感じたという声をもらっています」と吉野さん。「いじめた体験、いじめられた体験を振り返ることで、人として大切なことは何かを学んでほしいです」と話します。



「いじめからあなたの笑顔を取り戻したい―世代別事例を通して」(浪速社/1,400円)には、学生や卒業生のいじめ体験談が、幼稚園、小中高校、大学、社会人と世代別にまとめられています。

## じんけんガイド ひょうごっ子悩み相談センターのご案内

兵庫県教育委員会では県立教育研修所(加東市)に「ひょうごっ子悩み相談センター」を開設し、いじめや不登校、友人関係や進路などで悩んでいる幼児・児童生徒、保護者の相談に応じています。

電話相談	毎日9:00~21:00(12月28日~1月3日を除く) 固定電話から…☎0120-783-111 携帯電話から…TEL 0795(42)6004(有料)
夜間電話相談	毎日21:00~翌9:00 TEL 0795(42)6559(有料)
面接相談	予約制、1回1時間程度 ●予約方法/電話(☎0120-783-111)で希望日時(月曜~金曜9:00~17:00<祝休日を除く>)をお伝えください ●場所/センター相談室(教育研修所本館1階) ※詳しくはホームページを参照。「ひょうごっ子悩み相談センター」で検索

# 人権かるたで子どもの生きる力を育む

## NPO法人はちどり人権塾（明石市）

明石市の人権教育推進員を務めていた人たちによって2010（平成22）年に結成された「NPO法人はちどり人権塾」では、子どもに生きる力や道徳観を身に付けてもらおうと、子ども向けの人権かるたを作成して大会を開いています。

子ども向けかるたを作るようになったきっかけは一昨年、明石市で開催された兵庫県人権教育研究大会中央大会で、中高生や大人向けのかかるたを作ったところ、「子ども用はないのか」「実際に遊びたい」などの要望が集まったからです。

子ども用かるたは、幼稚園から小学校低学年までが主な対象。読み札の言葉はメンバーが手

分けして考えました。「ありがとう えがおがうまれる まほうのことば」「くつをそろえていい きもち」は日常のマナーを守ることの大切さを呼び掛け、「おかしをわけっこおいしいね」は一人っ子が増える中、周囲への配慮の大切さを説き、「ねえねえきいておかあさん」は忙しくても子どもの声に耳を傾けてほしいという親に対する願いを込めました。

大勢で遊べるように取り札は色紙に絵を描いて作りました。参加者が背を向けて取り札を囲み、読み上げられた言葉を復唱してから一斉に取り合ったり、言葉の一部を空欄にしてどんな言葉が入るのかを言い合ったりして遊びます。

代表の大原笑子さんは「かるた一枚一枚に込められたメッセージをかみ砕いてしっかり受け止めてほしいです。未来を担う子どもたちに、明るくて優しい心と強い心がバランス良く育つきっかけにしてもらえれば」と話します。

はちどりの名前は、南米アンデスの先住民族に伝わる民話「ハチドリの一としく」に由来します。山火事で多くの動物が逃げる中、ハチドリはくちばしに含んだ水で消火に乗り出します。その姿をからかい、笑う動物たちに返した言葉が「私は、私にできることをしているだけ」。この言葉通り、はちどり人権塾では自分たちでできることから一歩ずつ取り組んでいきます。



かるた遊びに熱中する子どもたち。取り札に描かれた柔らかいタッチの絵は親しみやすいと好評です



かるた大会の締めくくりは、お母さんから子どもに賞状をプレゼント



大人向けは展示も兼ねて大判サイズで作っています

NPO 法人はちどり人権塾

TEL 090 (8480) 2020

✉ hachidori.akashi@gmail.com

# 性的マイノリティの生きづらさ

ひだか やすはる  
日高庸晴さん (宝塚大学看護学部准教授)

20人にひとり

性的指向とは恋愛や性愛の対象が異性・同性・両性のいずれかの指向性を指し示す用語であり、世の中の95%の人々はヘテロセクシアル(異性愛)であり、残り5%はレズビアン(女性同性愛)やゲイ(男性同性愛、バイセクシアル(両性愛男女))であると推定されています。「性的指向」は、趣味や好みの意味合いで用いられる「性的嗜好」とは異なり、本人の選択によるものではなく生まれ持ったものを指します。しかし、実際には煙草やコーヒーといった選択的嗜好品と同義であると誤用されることが多くあります。また、身体の性別と心の性別の不一致を感じている性同一性障害の人々と混同される場合もあります。日本では性同一性障害も含めた性的マイノリティ全般を対象にした調査研究はほとんど実施されていませんが、ゲイ・バイセクシアル男性を対象にした調査のみ、この15年間に数多く実施されています。

## 自殺未遂リスクの高さと学齢期におけるいじめ被害

筆者らが2005(平成17)年に国内在住のゲイ・バイセクシアル男性を対象に実施したインターネット調査(有効回答数5731人)では、自殺

を考えたことがある人の割合は66%、実際に自殺未遂の経験割合は14%と極めて高率であり、異性愛男性と比較すると当該集団の自殺未遂リスクはおよそ6倍であることが判明しています。また、約半数は学齢期にいじめ被害経験があり、こういった学校生活における困難な経験があった人ほど、「用事がないのに保健室に行っていた」ことも分かっています。つまり保健室が一時避難場所になっている可能性があるため、特段用事がないのに保健室へよく行く児童・生徒の背景要因として、「もしかしたら性的指向の関与があるかもしれない」と想像力を巡らせて対応することが学校や地域に求められます。そうした日々の心掛けが問題の早期発見・解決に役立つかもしれません。

## カミングアウトの難しさ

最近では性的マイノリティについてNHKのテレビ番組で取り上げられるなど、以前より彼らの存在に関心が持たれるようになってきたように思われます。しかし、私たちの日常生活の中で性的マイノリティの当事者と出会うことはほぼ無いと思われがちです。同性愛・両性愛である性的指向を周囲に伝えること、いわゆるカミングアウトをできるゲイ・バイセクシアル男性はおよそ2人に1人であり、その実質の

人数を尋ねると4〜5人といったごく少数の親しい友人にだけ話していることが調査で分かっています。異性愛が大多数である社会では、「本当の自分」を話すことを難しく感じている人々も存在していることに思いを寄せてみてはどうでしょうか。

## 誰もが生きやすい社会のために

気付いていないだけで私たちの周囲に性的マイノリティの人々は数多く存在しています。誰もが生きやすい社会の実現のために、私たちに何かできることはあるでしょうか。性的マイノリティの人々は可視化が比較的困難な存在ではありますが、私たちの身の回りに同じ生活者として存在するという認識が必要です。そして、ホモやレズといった短縮した呼び方は差別や侮蔑の意味合いがあると考えられているため、そういった呼び方をやめて、レズビアン女性、ゲイ男性、バイセクシアルの男性や女性と表現することからまずは始めてみてはどうでしょうか。

## プロフィール

筑波大学大学院修士後、カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部で有色人種のための健康プロジェクトに従事。京都大学大学院医学研究科で博士号取得。厚生労働省エイズ予防研究班などで、エイズ予防や若者の自殺未遂などの健康調査を継続して実施、研究成果を国や地方自治体の対策に生かすための提言も数多く行っている。



「まず、こい、ファミリー」  
「おすすめの1冊」

中田永一著(小学館)

## 「くちびるに歌を」

学生時代、「勉強はあまりしなかったけど、〇〇には打ち込んだ」という人は多いのではないのでしょうか。本書は、長崎県五島列島にある中学校の合唱部がNHK合唱コンクールへの出場に向けて懸命に練習に取り組む中、男子部員と女子部員との対立、そして、顧問の教師と女子部員との葛藤などを通して、生徒たちが成長していく様子を描いています。

課題曲「手紙〜拝啓十五の君へ〜」にちなんで、教師は生徒に15年後の自分に向けた手紙を書くという宿題を出します。彼らの書いた手紙には、秘めた思いがこぼれ出ていました…。



## 読者からのお便り

●毎月、気持ちを新たに拝読しています。12月号は国際障害者デーや人権週間、障害者週間、県内のイベントガイドなど情報が盛りだくさんで、日々の生活に役立てていきたいと思えます。

(小野市・銭形平次パート3さん)

●12月号の県立阪神昆陽高校・県立阪神昆陽特別支援学校の記事を読み、大変うれしく思いました。私の子どもが当時の養護学校高等部に入るころは、学級増を要望する署名活動をしましたので、それを思うと夢のような話です。

(丹波市・青木義雄さん)

「きずな」のバックナンバーは、当協会または各市町の人権啓発担当部署にお尋ねください。



クロスワードを解いて、A~Iの文字を順番に並べると、何という言葉になるでしょう？



### カタテの

- 不正に対して憤りを感じる気持ち
- あきれて次の言葉が出ないことを「〇〇が継げない」といいます
- 目標達成! 頑張った〇〇がありました
- 回りに〇〇〇無援の人がいたら手を差し伸べてあげたい
- 「きっと良い結果になるから〇〇〇〇〇〇、心配しないで」と励まします
- 兵庫県最高峰の氷ノ山がそびえる但馬地域の中央に位置する市
- 別の意味。隠された意図。「〇〇はありません」
- 聞いたことを忘れないよう要点を〇〇しておきたい
- 吸うだけでなく読むことも求められます
- 「若い」という意味です
- 精も〇〇も尽き果てるまで頑張ることはありません。休養する勇気も必要です

### ヨコの

- 自分が関わった事柄から生じた結果に対して負う義務
- 〇〇、現在、未来
- 他の人に代わって事の処理を行う人
- 日常的な暴力や嫌がらせなど。疑いの事例を見聞きしたらぜひ通報を
- 千枚漬けになる品種もある、平たい球形の根を持つ野菜
- 学校現場での陰湿な〇〇〇が大問題になっています
- 「まさか」、「いくらなんでも」という気持ちを表す言葉
- 友達として付き合うこと
- 冗談や遊びなどでない真剣な気持ち
- 個人が日記形式で書き込むホームページ

〈12月号の答え〉ナクシタイヘンケン

お便り掲載者 クロスワード正解者 (抽選)

## オリジナルクリアファイル(4枚組)をプレゼント!

「読者からのお便り」の投稿掲載者(4月号に掲載)とクロスワードの正解者(抽選で20人)にオリジナルクリアファイル(4枚組)をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見やご感想、人々とのふれあいを通した心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。※投稿はペンネームの使用も可能です ※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます



### ■応募方法・締め切り

はがきかファクス、メールで受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用する場合も要併記)、電話番号、年齢、職業、本誌へのご意見・ご感想を書いてください。3月15日(金)締め切り(必着)

### ■応募先

〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内

(公財)兵庫県人権啓発協会「きずな編集室」

TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360 ✉info@hyogo-jinken.or.jp

## 平成24年度「人権のつどい」に500人が参加

昨年12月3日、県公館で「人権のつどい」を開催しました。この行事は「人権文化をすすめる県民運動」の一環として平成16年度からスタート。今年度は約500人が集まりました。のじぎく文芸賞の表彰式の後、NPO法人北九州ホームレス支援機構理事長の奥田知志さんが講演。「絆が希望を創り出す～無縁の時代の絆を問う～」と題して、無縁社会における人と人のつながりの大切さを訴えました。続く、「ハートフル人権コンサート」ではフォークデュオ、紙ふうせんが兵庫県イメージソング「ふるさと兵庫」などを披露。会場は優しい歌声に包まれました。

「人権のつどい」の概要は兵庫県インターネット放送局「ひょうごチャンネル」でご覧になれます

ひょうごチャンネル



奥田さんは自身の支援活動を通して、人と人との絆の大切さを話しました



紙ふうせんは兵庫県イメージソング「ふるさと兵庫」や「翼をください」を演奏



### イベントガイド

伊丹市人権・同和教育研究協議会 第39回伊丹市 人権・同和教育研究大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時/2月2日(土)10:00～16:00</li> <li>●場所/スワンホール(市立労働福祉会館)、市立総合教育センター ※JR・阪急「伊丹」駅から市バス「スワンホール前」下車すぐ</li> <li>●内容/講演会「幸せって何だっけ?～被虐待の淵を生き抜いて～」島田妙子さん((一財)児童虐待防止機構理事長)、分科会</li> <li>●問い合わせ/伊丹市教育委員会人権教育室 TEL 072(784)8113</li> </ul>
人権を考える市民の集い (揖保川会場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時/2月9日(土)13:30～16:20 ※申し込み不要</li> <li>●場所/たつの市総合文化会館アクアホール ※JR「竜野」駅から徒歩約15分</li> <li>●内容/ライフデザインいぼがわの公演、「私の心にひびいたあの一言」表彰・朗読、講演会:笑福亭鶴笑さん(落語家)など</li> <li>●問い合わせ/たつの市教育委員会人権教育推進課 TEL 0791(64)3182</li> </ul>
神河町人権啓発講演会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日時/2月11日(月・祝)9:30～11:40 ※申し込み不要</li> <li>●場所/神河町中央公民館グリンデルホール ※JR「寺前」駅から徒歩約5分</li> <li>●演題/「ハートフル人権コンサート」森祐理さん(歌手)</li> <li>●問い合わせ/神河町教育課 TEL 0790(34)0212</li> </ul>

### ハーフ タイム

先日、北播磨の\*適応指導教室に通う方から、こんなお便りが届きました。「私は学校へ行けなくなりました。本当はみんなと一緒に勉強したいのですが、今は無理です。みんなはなぜ?と思うかもしれませんが、足がすくみます。今は適応教室が私の居場所です。私の中に『元気』が満ちてきたら行きます」。きずな編集室では、一人でも多くの皆さんが元気になるその日まで本誌を送り続けます。(田中)

\*主に不登校の児童生徒に対して、学習活動等を通して学校生活への適応力を高め、早期の学校復帰への支援を行うために教育委員会が学校以外の場所に設置した教室